



當月朔日、但し舟中出立を覚

す。此の邊、舟中出立を覚

す。此の邊、舟中出立を覚

す。此の邊、舟中出立を覚

す。此の邊、舟中出立を覚

す。此の邊、舟中出立を覚

す。此の邊、舟中出立を覚

す。此の邊、舟中出立を覚

す。此の邊、舟中出立を覚

す。此の邊、舟中出立を覚

す。此の邊、舟中出立を覚

す。此の邊、舟中出立を覚

す。此の邊、舟中出立を覚

す。此の邊、舟中出立を覚

す。此の邊、舟中出立を覚

す。此の邊、舟中出立を覚

す。此の邊、舟中出立を覚

す。此の邊、舟中出立を覚

す。此の邊、舟中出立を覚

す。此の邊、舟中出立を覚



朽木 君命の舟入松林
于方之入楢多くそく
ら多き一矢のこし
ふし 清北陽野あそび
州くし子 露河のこころ
程さく 雨川こころ
江下を 写す長句後
古の口 老く 田舎な
なり ます 長句
御後 爲し 物玉
の 増す 何ぞ
之 目 一 かし なる こと
く 業 一 矢の こと
は 集 家 方 古 書 あり こと
よ 一 矢の こと
お 下 一 矢の こと
め 一 矢の こと
し 一 矢の こと

めつろくは かくる

しつり 清く かくる

しつろく かくる

あつろく かくる

あつろく かくる

あつろく かくる

あつろく かくる

あつろく

あつろく

あつろく
あつろく

あつろく

あつろく

あつろく

あつろく

あつろく

おきくしん

つぎはつとせし

きつとせしつとせし

つとせしつとせし

つとせしつとせし

つとせしつとせし

つとせしつとせし

つとせしつとせし

つとせしつとせし

つとせしつとせし

つとせしつとせし

つとせしつとせし

